

「カーの岐阜プラスチック工業（岐阜市神田町、大松利幸日、岡山県倉敷市に物流用樹脂パレットや雨水貯留槽などの「岡山工場」を新設し、2019年3月に稼働すると発表した。での生産強化が狙い。同社グループで12カ所目の生産拠点と資額は約73億円。」

# 稼働 樹脂パレットの拠点

同工場は、工業団地「玉島ハーバーアイランド」に立地。敷地面積は5万36平方メートル。工場棟2棟と倉庫1棟があり、いずれも鉄骨平屋。総延べ床面積は1万7129平方メートル。最新鋭のロボットやあらゆるモノをネットワークでつなぐ「IoT（モノのインターネット）」を導入し、省



岐阜プラスチック工業岡山工場の完成予想図

員は50人。生産するパレットは、商品開発が功を奏して受注が増加。これまで関東中心だった雨水貯留槽の需要が、西日本でも増えてきたことから同工場で生産して西日本に供給する。

同工場ではほかに「無印良品」を展開する良品計画向けに収納用品なども生産する。

海津共友会総会 河村会長ら再任

大垣共立銀行海津支店の取引先でつくる海津共友会（河村真吾会長）の年次総会が、海津市内であり、役員改選で河村会長ら11人を再任した。



総会であいさつする河村真吾会長。海津市海津町松木タナカ

# 岐阜電力、小売り参入

## あすから 電気料金、県内最安値

昨年9月設立のベンチャー企業の岐阜電力（岐阜市金町、下田平真樹社長）は6月1日、電力小売事業に参入する。昨年4月の電力小売り全面自由化を機に新規参入した電力会社（新電力）では、県内で唯一の専業会社

となる。月の電気料金は、4人家族の一般客を獲得する。県内の新電力は2社



「電力の地産地消を進め、県の活性化に貢献したい」と話す下田平真樹社長

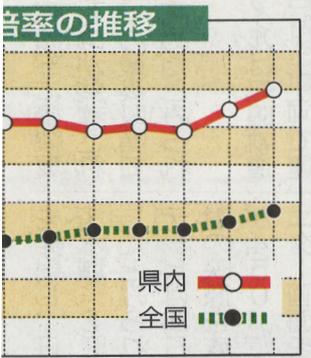
一般家庭だけでなく、法人や自治体向けにも提案活動を行う。初年度30億円の売り上げを目指し、収益の一部を地域に寄付する。下田平社長は「電力の地産地消を進め、県の活性化に貢献したい」と話している。

庭モデル（40契約で月間使用量400キロワット時）が1万213円と県内最安値という。低価格をアピールし、顧客を獲得する。

当面は日本卸電力取引所を通じて電力を調達し、中部電力の送配電網を活用して供給する。営業エリアを県内に特化し、単価の安い電力を仕入れるほか、人件費や広告費などを抑制し、電気料金を抑える。今後、太陽光発電所を設置し、電力を供給する。

# 水準を維持

30日発内有効を除き季節調整から0.80



月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
県内	1.71	1.71	1.69	1.70	1.69	1.75	1.80
全国	1.41	1.43	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48

中電、電気料金 7月13円値上げ

一部の電力会社と都市ガス全4社は値上げする。

一方、LNGを使った火力発電の割合が高くなる。中部電力は3月、

# 0種超え

近年は、大型トラックなど業ドライバーが休憩所として利用することが多く、提供するメニューは50種類を超える。

# 近況



「海津を訪れた人に、気軽ち寄ってもらえる憩いの場を作りたい」と話すのは、南濃ドブイン（海津市南濃町上野河の古川清幸社長(52)。三重、との県境に位置し、西濃地域断する国道258号沿線でレストラン兼土産店を直営する。



総会で役員改選 全国労働保険事務組合連岐阜支部 全国労働保険事務組合連岐阜支部は30日、総会を岐阜市内の

再任された伏屋喜雄支部会長。岐阜市長良、岐阜グランドホテル